

# 幻の陶器の里を巡る

すえき

百舌鳥古墳群

陶邑遺跡群

令和4年11月26日(土)  
歴史ウォーク「古代の陶邑巡り」

百舌鳥古墳群と同じ時代、古墳群からほど遠くない丘陵地に、ヤマト王権によりつくられた古代日本最大のものづくりの場「陶邑」<sup>すえむら</sup>は、渡来系の陶工たちが、千基以上と推定される窟窯<sup>あながま</sup>により、最先端の須恵器という陶質土器（セラミックス）を組織的・大量に生産した「セラミックスバレー」ともいうべき場所でした。日本書紀に登場する「茅渟県陶邑」<sup>すえむら</sup>を尋ね、古代の須恵器窯跡や、陶工たちの帰依する「大須恵山高倉寺」<sup>たいすえざん</sup>、祖神を祀った「陶荒田神社」<sup>すえあらかた</sup>を泉北の緑道を楽しみながら巡ってみましょう。

令和4年12月3日（午前と午後の2回開催）  
堺市博物館展示品説明会  
「陶工たちの遺産」

陶工たちの遺産、多種多様な須恵器と古墳が陳列される堺市博物館で、学芸員による展示説明会を午前午後の各2回実施しますので、ご希望の時間帯も併せてお申し込みください。

※コース内容やお申込み方法等、詳細は裏面をご覧ください。

須恵器



# 幻の陶器の里を巡る

すえき

## 令和4年11月26日(土) 歴史ウオーク「古代の陶邑巡り」

千基以上あった須恵器窯もほとんどは破壊埋没されてしまいましたが、当時の姿が復元された須恵器窯をご覧いただき、行基四十九院最初の寺 大須恵山高倉寺、大物主命(大国主命)と陶工の娘の息子大田田根子が祀られる陶荒田神社にお参りし、現代須恵器に触れ、お土産にすることもできます。



大須恵山高倉寺

### 【行程】

泉北高速鉄道泉ヶ丘駅 午前9時30分集合  
泉ヶ丘駅前→須恵器窯跡→陶器藩お茶山→大須恵山高倉寺→緑道→陶荒田神社(約5km) 昼食(上之自治会館)→上之バス停からバス、又は徒歩にて泉ヶ丘駅(約2km)



陶荒田神社

※昼食(各自ご用意ください)後 上之バス停から南海バスで泉北高速鉄道深井駅へ、又は健脚な方は泉ヶ丘駅まで徒歩約2km。

※昼食場所の上之自治会館では、すえむらの会による現代須恵器の展示販売を実施。

【定員】50名(先着順で定員になり次第締め切り) 【参加費】500円

## 令和4年12月3日(午前と午後の2回開催) 堺市博物館展示品説明会 「陶工たちの遺産」

堺市博物館には、百舌鳥古墳群や陶邑から発掘された歴史遺産が数多く展示されています。陶工たちの残した数多くの須恵器や、石棺等の展示品を学芸員の解説を聴きながら見学します。



【開始時間】午前の回:10時~11時 午後の回:14時~15時

【実施場所】堺市博物館(JR百舌鳥駅から500m大仙公園内)

【定員】午前・午後 各25名  
先着順で定員になり次第締め切り。

【参加費】無料  
但し博物館入館料200円(堺市民65歳以上無料)要

予告

※来春3月には、歴史ウオーク『幻の陶器の里』を巡る第2弾として「中世・近世の陶器庄を巡る」を開催いたしますので、ご期待ください。

## お申込み方法

以下のいずれかの方法でお申込みください。参加希望日と、12月3日の場合は、希望時間(午前か午後)かもお伝えください。

電話

072-260-4441

メール

sakaikanbo@joy.ocn.ne.jp

件名を「陶器の里を巡る」とし  
代表者の氏名をご記入の上送信してください

LINE



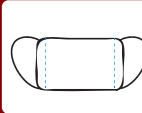
右のQRコードをスキャンして、お友だちになっていただいた上でお申込みください。

複数の方を一緒にお申込みの場合は、代表者のお名前・連絡のつく電話番号・住所・全員の方のお名前をお伝え願います。

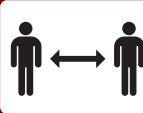
## お願いと注意事項

■当日は感染防止対策を行い開催いたします。 ■新型コロナウイルス感染症の情勢によっては、内容変更や延期、中止の可能性があります。 ■最新情報はHPでご確認ください。http://sakai-kanbora.org/ ■発熱(37.5℃以上)や咳症状など、体調に不安のある方はご来場をご遠慮ください。 ■新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご来場のお客様の情報を保健所等の公共機関に提供する場合があります。 ■右図項目のご協力をお願いします。

マスク着用



社会的距離



手指の消毒



体温測定



★ご不明な点があれば、お電話にてお問い合わせください。TEL:072-260-4441

NPO 法人 堺観光ボランティア協会

〒590-0078 堺市堺区南瓦町 2-1 堺市民活動サポートセンター内

